

(4) 住まいの場 施設入所支援

○各事業の利用率

	定員	利用者数	利用率
幸の実園	30名	27名 (R6. 3. 31 現在)	90.0%
第二幸の実園	50名	46名 (R6. 3. 31 現在)	92.0%

○支援報告

- ・一人ひとりが安心して生活が送れるよう、個々の特性や加齢等に合わせた支援を行った。
- ・医務との連携を図り、健康管理・服薬管理を行い健全な生活が送れるようにするとともに不健康者等における早期の対応に努めた。
- ・利用者の要望や困りごとに対して、その都度状況に応じて相談支援を行った。
- ・虐待防止研修や各種研修を各職員で積極的に受講する事で、職員のスキルや障害への理解、虐待防止への意識向上に努めた。
- ・利用者一人ひとりの目標や希望に沿った支援を行うため、関係者間で連携して支援を行った。

○入所者の健康管理状況報告

- ・令和5年度より、定期健康診断について、従来通り、日立メディカルセンターによる訪問型健康診断を行い、その結果に応じて、主治医による適切な指示のもと、継続した健康観察を行っている。
- ・毎日の検温や血圧測定、月1回の体重測定などにより利用者の健康を把握した。
- ・高齢化に伴う対応を支援と看護で連携して行う。
※シルバーリハビリ体操を引き続き行い、学んだこと生かした体操を日常に取り入れ、体力・筋力維持に努めている。
- ※心身状態に合わせて日中活動や食事形態の変更を行いながら、必要時には介護との連携を図っている。
- ・腸内保菌検査 11月 検便検査を、利用者・職員とも全員実施することができた。
- ・インフルエンザ予防接種を令和5年11月に全員実施し、感染予防に努めた。
- ・嘱託医の定期往診及び適宜通院を行い、医師と連携を図り利用者の健康維持に努めた。
- ・嘱託医、協力病院以外の通院も必要に応じて実施している。

○新型コロナウイルス感染症に対する施設独自の感染予防対策

- ・令和5年5月8日の「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更」に伴い、施設内における感染予防対策の見直しを行った。

《マスク着用について》

- ・職員：感染症罹患時の利用者の重症化リスクを考慮し、就業中のマスク着用を基本とし、例外として、会話をしない場面・会話をしても適度な距離と空間が保たれている場合は、個人の判断に委ねる。
- ・利用者：マスクの着用は求めない。(着用を求める方に対しては意思を尊重する)
但し、病院への通院時・体調不良時・人が多く集まる場所での作業や外出時・その他必要と思われる場面においてはマスク着用を促すが、個々の障害特性に応じて対応する。

《施設独自の感染予防》

- ・密にならない時間差の食事形態・個別対応の作業形態の継続。
- ・利用者の毎日の検温と体調チェックの継続。
- ・職員の健康観察票の記入と提出の終了・自己管理に努める。
- ・消毒方法・時間の変更
- ・コロナ罹患時：職員～学校感染症の取扱いに準じ、発症日0日とし5日間の出勤停止。
職員同居家族の陽性時～家族発症0日目～2日目の期間（3日間）は
施設長判断の上、出勤を見合わせる。
利用者～発症者に対しては、嘱託医指示のもと抗原検査を実施、
感染症対策マニュアルに沿って対応する。
- ・職員の行動記録や外出制限は終了し、自己管理に努める。

《保護者対応について》

- ・令和5年4月1日より、面会・外出・外泊の制限を解除した。
- ・面会・外出・外泊の頻度は、2週間に1回とし、完全予約制・来園時の健康チェックリストは継続とした。
- ・帰園時は、検温と健康観察チェック（目視・口頭）のみとし、一斉抗原検査は終了とした。
- ・外出・外泊時の行動記録も終了とした。

○令和5年度の動向

- R5.6.月 ・施設利用者様・職員の新型コロナウイルスワクチン接種6回目を行った。
 幸の実園 ～6月2日、16日
 第二幸の実園～6月15日
- R5.9月 ・日立メディカルセンターによる訪問型健康診断を利用者・対象職員に対し行い、
 結果を嘱託医と共有し、適宜対応を行った。
 幸の実園 ～9月8日
 第二幸の実園～9月15日
- R5.10月 ・施設利用者様・職員の新型コロナウイルスワクチン接種7回目を行った。
 幸の実園 ～10月27日
 第二幸の実園～10月26日
- R5.11月 ・施設利用者様・希望職員のインフルエンザ予防接種を行った。
 幸の実園 ～11月7日
 第二幸の実園～11月1日
- R5.12月 ・幸の実園内において、インフルエンザA型が発生。
 ◎罹患者・・・利用者：3名、職員：1名
 ◎感染症対策マニュアルに沿って感染管理対策を講じ、終息した。
- R6.1月 ・幸の実園内において、新型コロナウイルス感染症クラスターの発生。
 ◎罹患者・・・利用者：20名、職員：3名
 ◎感染症対策マニュアルに沿って感染管理対策を講じ、施設内療養を行い、
 重症化に至ることなく終息した。

- ・臨時感染対策委員会の招集、検証会議を行った。
- R6.3 月
- ・日立メディカルセンターによる訪問型健康診断を利用者・対象職員に対し行い、結果を囑託医と共有し、適宜対応を行った。
 - 幸の実園 ～3月21日
 - 第二幸の実園～新型コロナウイルス感染症クラスター発生の為延期
(R6.5月に実施予定)
- R6.3 月
- ・第二幸の実園内において、新型コロナウイルス感染症クラスターの発生。
 - ◎罹患者・・・利用者：33名、職員：7名
 - ◎感染症対策マニュアルに沿って感染管理対策を講じ、施設内療養を行い、重症化に至ることなく終息した。
- ・臨時感染対策委員会の招集、検証会議を行った。

現在、事業所内における感染症 BCP を作成中。感染症対策マニュアルと照らし合わせながら、引き続き感染対策・健康管理を行っていく。